

研究課題名	高周波心筋焼灼術中のインピーダンス変化の、通電指標としての有用性の検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院 循環器科
研究責任者	所属 循環器科 氏名 稲葉 理
研究期間	平成28年 2月 ～ 平成 年 3月
研究の意義・目的	高周波カテーテル心筋焼灼術は不整脈の根治的治療法として広まっている。不整脈の病巣を高周波通電で焼灼し根治にいたるが、不十分な通電による不整脈再発や、過度の通電による合併症が問題となる。適度な通電の指標として、インピーダンスが有益か検討することが本研究の目的である。
研究の方法 (対象期間含む)	2015年6月から12月まで当科で初回の心房細動アブレーション治療を受けた患者様が対象。電子カルテから臨床経過のデータの抽出を行い、インピーダンスが急性期の成功率や合併症の頻度と関連があるか検討する後ろ向き観察研究である。患者様の治療方針などへの介入はない。
個人情報の取扱い (匿名化する場合はその方法を含む)	個人情報以外の臨床データのみ抽出、振り番号での管理をするため、データは匿名化される。
問合せ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 循環器科 氏名 稲葉 理  TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525